

復興まちづくりに関する 町民意向調査結果【概要版】

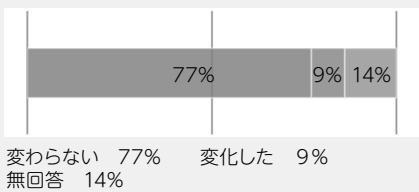
安平町では、北海道胆振東部地震からの1日も早い復旧・復興に向け、町民の皆様の意向を把握しながら「復興まちづくり計画」を策定し、震災前よりも元気で魅力的な町を目指すこととしております。この度、全世帯（町外避難世帯含む）を対象とした町民意向調査の結果を取りまとめましたのでお知らせいたします。※調査結果の詳細については、安平町ホームページへ掲載しております。

調査期間 5月17日～6月3日

回答数及び回答率 配布数 4,095 通 回答数 1,642 通 (回答率 40%)

▶ 震災前後の居住地について

震災前後で居住地が変化した世帯が9%と全体の約1割に及んだことが伺えます。



▶ 震災前後の住まいの種類

震災により持家（戸建て）を失い、仮設住宅への入居を余儀なくされている方が多くいることが数値として明らかとなっています。

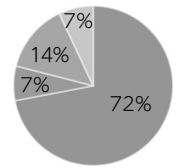
種類	震災前	震災後
持家（戸建て）	48%	44%
仮設住宅（みなし、トレーラーハウス等）	0%	3%

※一部抜粋しています

▶ 震災前後の居住地について

今後も安平町へ住み続けたいという方が7割いる一方で、残る3割の方は移転、思案中、分からないなど安平町内での居住を躊躇する現状があります。

住み続けたい 72%
どちらかというに移転 9%
分からない、思案中 14%
無回答 7%



▶ 安平町に住み続ける（移転・戻る）うで重視すること

- ・町内に引続き居住している方は「買い物、子育て・教育、医療」など町内の生活環境の充実を重視する方が最も高い結果となりました。
- ・町外避難世帯の方については「自宅の再建や住まいの確保」といった生活拠点があることを重要視している結果となっています。

引続き生活環境の充実を図りながら、住まい確保に向けた支援策を講じていく必要性があることが伺えます。

▶ 復興まちづくりに向けた意識・意向について

復興に向けたまちづくりを進めていく中で、次のテーマにおいて関心があるものをそれぞれ選択いただきました。

テーマ	関心のあるもの
住まい・暮らし	・生活再建に向けた取組みや横断的な相談窓口
災害につよいまちづくり	・電気やガス、電話、公共交通網などの防災機能の強化 ・道路や下水道など公共インフラの復旧、機能強化
産業・経済の再生	・農林業分野の復旧復興、振興 ・商業分野の復旧復興、活性化
未来への継承	・安心して暮らし続けることができる環境づくり

▶ 今後の安平町の復興まちづくりに関する意見（自由記載）

今後の復興まちづくりに関する意見では、回答者全体の25%（460件）の方が意見を記入するなど、復興まちづくりへの高い関心が示されています。紙面に限りがあり、全て掲載が出来ないため、いただいたご意見の種別をご紹介します。

種別	割合	種別	割合
情報伝達手段の改善	13%	観光振興・交流人口の拡大	2%
道路等インフラの復旧及び整備	10%	土地利用の改善	2%
災害対応への改善要望	9%	雇用機会の創出	1%
まちづくりへの意見・提言	8%	子育て支援	1%
地域活性化・産業の振興	8%	道の駅に関する意見	1%
交通環境の改善	7%	精神面のケア	1%
行政への意見	7%	地域コミュニティの改善	1%
住宅等の支援・補助	6%	スポーツ施設の復旧	0%
高齢者への支援	5%	義援金の用途	0%
教育環境の改善	3%	行政等への謝意	4%
定住促進	3%	その他	3%
買い物環境の改善	3%	合計	100%
医療・福祉の環境改善	2%		

本調査結果やご意見等については、引続き分析し復興まちづくり計画へ反映させてまいります。

また、8月5日から始まる町民まちづくり懇談会においても皆様のご意見をお待ちしております。

懇談会の日程		
8月5日(月)	18時30分～	追分公民館
8月6日(火)		遠浅公民館
8月7日(水)		早來町民センター
8月8日(木)		安平公民館

調査へのご協力、誠にありがとうございました。

問合せ 政策推進課政策推進グループ ☎② 2751